

ヴァイオリンコンサートを聴いて

取手の隣町、利根の公民館で、11月20日に、天満敦子のヴァイオリンコンサートが開かれた。新聞広告を見た息子の嫁が、「えっ、あの有名な天満敦子のコンサートが利根町であるの」と驚きのようだった。

東京に生まれ育った嫁は天満敦子がヴァイオリンで国際的に活躍盛んな頃、都内で聴いて感動し、そのCD数枚を持って聴いている程のファン、それと、これもまた、ベートーベンの「第九」を謳いにドイツまで2回も行って来たという私の娘に誘われ、連れられて、わたくし「ミスター86歳」も会場に向かったのでありました。人口2万人足らずの利根町に、このように音響効果も考えて文化的な公民館があったことを初めて知って、敬服申し上げたのであった。

椅子席600程のこじんまりとした劇場のステージに、14時かつきりに天満敦子が颯爽と現れ、演奏が始まったのである。咳、声、一つなく静寂で知性と教養の雰囲気の中で、「バッハ」「シューベルト」「シューマン」等の名曲が次々と弾き熟されて胸にしみこんでくる。こんなに手が痛くなる程拍手をしたのはわが生涯、初めてのこともしれない。

天満敦子は、東京芸術大学大

学院修了。在学中に日本音楽

コンクール第一位、ロニーテイボ国際コンクール特別銀賞を受賞、以来目下国際的に活躍中。1993年にルーマニアの大作曲家ポルムベスクの「望郷のバラード」を日本に紹介して大ヒット曲となった。2009年には小林亜星の意欲作「ロマンティックをもう一度」のCDが大好評。現在、東邦音楽大学大学院教授。素晴らしい音楽と出会い、幸せな1日だった。

例えば、取手に住み着いてから、もう34年も過ぎた。その頃の取手は、交通至便な東京のベッタタウン、茨城県の表玄関口だから、あらゆるものが思うように集中発展する。エンターテインメントも駅周辺に数多く並び楽しくなること間違いなしと、何回演説を聴かされたものだったか。なんとそれが、今や衰退都市、ゴーストタウンの見本のように言われ続けている。

自然を肌を感じながら市民の夢が叶い幸せが訪れる街を願って新しく「ゆめみ野」が誕生した。せめて、この周辺に県民の玄関口とも言えるようなエンターテイメントな一画を存在させたいものである。

いわをのパソコン日記

温々亭(ぬくぬく)教室案内

わらを使ったオリジナルのしめ飾りは毎年好評です。準備の都合上先着6名様です。お早めにご予約ください。手作りのしめ飾りで新年を迎えましょう。

12月の教室案内

- 8日(木)つるし飾り 2000円
 - 13日(火)かな習字 1000円
 - 14日(水)押し絵 2000円
 - 15日(木)切り絵 1000円
 - 16日(金)しめ飾り 2500円
 - 19日(月)ちぎり絵 2600円
 - 22日(木)折り紙 1000円
- 材料費込みの講習料です。
講座時間は午前10時から12時
講座予定2日前までに申込み
佐藤 取手市本郷2-6-31
問 090-1531-7063

NPO法人取手ぐるくと、

第0研修室が共同で運営する

「あーと屋 えまる」

芸大生や美術作家と市民との交流を目的にスタートして5年目、アート作品を廉価で買えるよう、毎日午後1時から6時まで(日曜定休)店番をボランティアで運営しています。おしゃべりだけに立ち寄ってください。大歓迎！お待ちしております。工藤 問 090-8646-4410

Toride Mainichiへの掲載受付中
ご連絡お待ちしております。

Toride Mainichi 12月号プレゼント

12月5日(月)必着

応募方法 ①名前②郵便番号③住所④電話番号⑤希望プレゼントを記入しハガキ又はFAXにてお申し込み下さい。
〒302-0024 取手市新町5-11-3 FAX 0297-73-0988
小沼新聞舗 HP から申し込みできます。小沼新聞舗で検索してください。

- *毎日新聞社刊『弱き者の生き方』『英雄の書』『パドックス』『あすなる三三七拍子』『チッチと子』【各5名様 希望本名を記入】
- *毎日新聞カレンダー【1名様】
- *スポーツニッポンゴルフカレンダー【1名様】
- *茨城新聞 鹿島アントラーズカレンダー【1名様】
- *スヌーピー文具セット 色はブルーです【10名様】
- *とりで太鼓の祭典 第2回合同演奏会【2枚1組1名様】
- *毎日新聞旅行 日本の山旅 秋号【先着順】

Toride Mainichi 118号プレゼント 申し込みシート

名前	
郵便番号	
住所	
電話番号	
希望プレゼント	